

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 64.2%, 県 70.4%)

対県比 91.2%

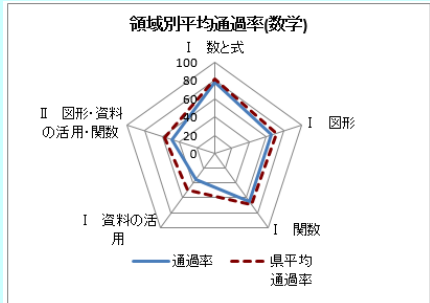
学力定着実態調査 本年度正答率

本校 68.6% 対全国比 98.3%  
 全国 69.8%

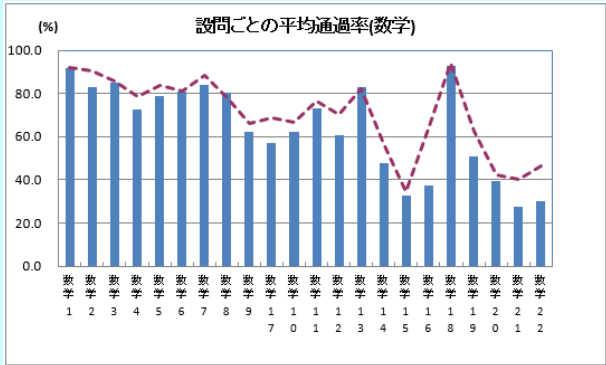
本年度の結果について

対全国比98.3%、A問題・B問題における全国正答率との差がA -1.2% B -0.8%と「知識」に関すること「活用」に関することどちらもほぼ同じくらい低い。「知識」「活用」とも定着をさせていきたい。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題 本校 63.2% 全国 64.6% 県 64.4%  
 B問題 本校 40.8% 全国 42.7% 県 41.6%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 %

重点課題

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査  
 7(1) 表から中央値をもとめる問題に課題がある。正答率37.3% 誤答率60.6% 無解率2.1%であり、中央値の意味や度数分布表の見方が理解できていないことが課題である。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査  
 B問題1の関数の領域で、情報を読み取り、処理・解釈・数学的な説明をする分野に課題がある。正答率は県平均よりおよそ5%低く、無解答率も3%前後低い。情報の活用ができていないことが課題である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査  
 既習の数学用語を授業の中でできるだけ使うようにして、生徒に説明をさせたり、問題文の中にも数学用語を用いた問題をくり返し解かせて、正確な理解とその定着を図る。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査  
 関数の問題には苦手意識があるので、具体的な事象から関数の関係を読み取らせたり、それを活用する方法を学ばせ、表現させる。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年中間試験		2年期末試験		2年学年末試験	
目標値		60%		65%		70%	
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年中間試験		2年期末試験		2年学年末試験	
目標値		60%		65%		70%	
実施後数値							